

平成29年度 第6回日向市景観賞「作品」部門(写真)受賞作品

最優秀賞	ファミリー
	撮影者 竹山 佳美 講評 気持ち良く晴れた海辺で、家族3人でこれからサーフィンを楽しむのか、仲良く歩いている姿が、魅力的な夏の風景を創り出している。和やかな時間の中で、サーフボードの赤色がワンポイントとなり、構図のバランスがとても素晴らしく、高い評価を得た。
優秀賞	コーヒブレイク
	撮影者 関本 尚子 講評 これまでにないインパクトのある構図が人の目を引き、一瞬、日向ではないような“新しい日向”の風景を発見した作品と言える。キョウチクトウの先に広がる青い空と海は、誰もが行ってみたいくなるような風景である。
優秀賞	79才の夏
	撮影者 斧 由美 講評 平凡な農山村の風景だが、湿度の高そうな夏の雰囲気伝わってくる。その風景に人と動物が入ることでバランスが良くなり、映画の一場面を切り取ったような作品。秋には稲穂が色付き、風景が変化していく様が想像でき、これからも守り育てていきたい風景の一つとなっている。
優秀賞	細島漁港 夏の宵
	撮影者 大津 武士 講評 港町細島が宵の時間になると、いつもと違った幻想的な風景を見せることを再発見できた作品。家に灯る優しい光が、仕事から帰った漁師たちの1日の終わりを静かに告げているような、素朴で生活感あふれる作品が高い評価を得た。